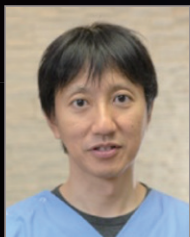


BeautiBond Xtreme



貞光歯科医院 院長
貞光 謙一郎 先生

臨床現場の声を
お届けします。



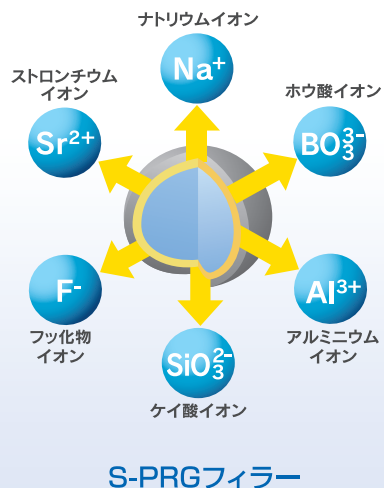
ビューティコア使用時における ビューティボンド Xtremeの臨床的活用

2015年に支台築造材料として登場した「ビューティコアシステム」は築造用とポスト部填入用のペーストを個々に設計し、さらに松風社独自の予防的ガラスフィラー「S-PRGフィラー」を配合したユニークなレジンコア材料である。歯質保護という観点から新しいコア材料として注目され、配合された「S-PRGフィラー」によって6種のイオンを口腔内にリリースし口腔環境を健全な状況に保つことが期待される。

私個人としては、特に①口腔内環境を中性に近づける酸中和能、②歯の再石灰化を助けるイオンの徐放、③細菌の付着を抑える抗プラーク付着性に注目している。当院ではバイオアクティブな効果が期待される充填材料やセメント材料に加えて、この「ビューティコアシステム」を臨床に用いてきた。

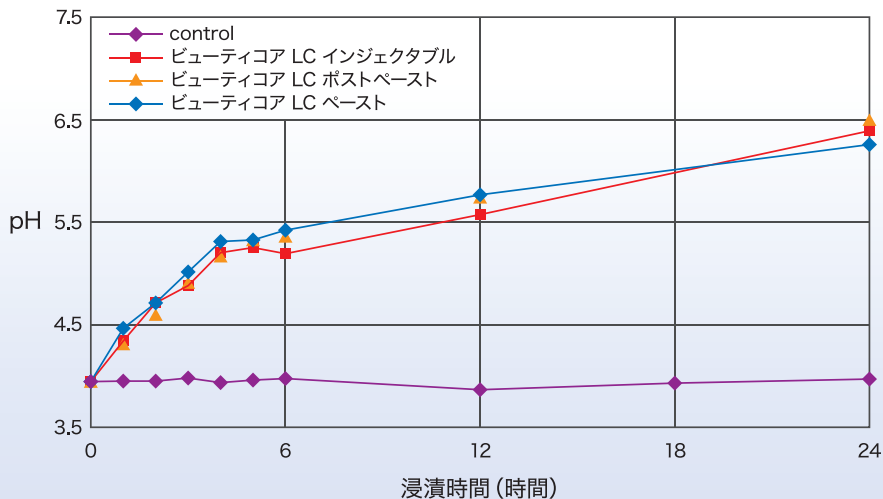
これまで「ビューティコア」との組み合わせにおいて活用してきた「ビューティデュアルボンド EX」の新バージョンとして「ビューティボンド Xtreme」が発売された。そこで、本クリニカルレポートでは「ビューティボンド Xtreme」と「ビューティコア」を用いた症例を紹介しつつ、「ビューティボンド Xtreme」の臨床的活用について記述する。

酸緩衝能



〈イメージ図〉

乳酸水溶液 (pH4.0) 浸漬時のpH変化



臨床
ケ
ー
ス

CR充填部位の審美不良により来院。



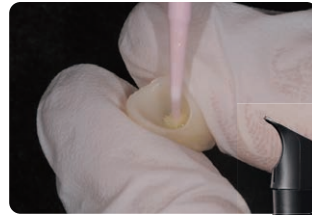
CR充填物の除去後、通法に従い根管形成、根管充填を実施。その後、築造窩洞を形成した状態。



窩洞内にビューティボンド Xtremeを塗布、エア乾燥後、光照射を実施。



ビューティコアファイバーポストを併用し、LCポストペースト→LCペースト(Dentin)による支台築造を行なった。



ビューティボンド Xtremeを用いて支台歯および、補綴装置内面を処理。



レジセムEXを補綴装置に塗布、圧接操作を行なった。



余剰ペースト除去後、最終硬化を確認し、セメントラインを研磨。



再来院時、マージンライン等の最終確認を行なった。

所 感

LCタイプのビューティコアシリーズは発売当初より活用し、充填用フロアブルコンポジットレジンと同様のシリンジを採用していることから、手になじみやすく、操作感は抜群である。さらに、硬化前のペーストは市販ファイバーポストとの濡れ性が良く、硬化後は天然歯に類似した切削感を感じることができ支台歯形成がしやすい。

一方、今回発売されたビューティボンドXtremeはベタツキがなく、薄く伸びやすい性状のため、知覚過敏症に活用する機会が多く、その効果を体感している。

また、従来製品(レジセム)と発売品(レジセムEX)を比較した場合、操作性が改良されたレジセムEXは圧接時の余剰ペーストの除去性が格段に向上したことが嬉しい。

バイオアクティブなマテリアルとして世界的に評価をうけているPRGフィラーが配合された商品群(ビューティコア、PRGプロテクトシール、レジセムEX等)を支台築造～審美補綴装置の装着までの一連の流れの中で活用できたことは、**予防的観点からもメリットは大きい**と感じた。

取扱い店



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

www.shofu.co.jp

1608BJTI